

# 「島の食に笑顔を…」

与那国町長寿福祉課 与那覇ひとみ

## Let's 健康おきなわ21

リレーエッセイ ㊤

「ちょっと見てみてよーみんなのお弁当すーいいんだよー!」と保育園の先生の嬉しそうな笑顔に連れられ、覗いてみると、「わぁーおっ!」と思わず叫んでしまった私。

与那国町では公立保育所が2か所あり、1か所はへき地保育所のため、昼食はお弁当持参。そのお弁当の内容に変化が現れて

きたのです。

国が食育基本法を定めたのが平成17年。各市町村でも食育推進計画が策定され、全国の実定率平均が78・1%である一方、沖縄県は22%と低い。(平成29年3月末現在) そんな中与那国町も食育推進計画を策定する事に。平成28年度は実態把握のため意識調査を実施し、その結果を基に平成29年度で策定という流れになりました。

「策定」をするだけではなく、「推進」するという大きな課題。事務職である私と、管理栄養士さんの二人三脚がスタートしました。

意識調査で大きく浮き上がったのが地産地消の問題です。住民さんは島で採れた野菜が食べたいと思っても、需要と供給のバランスが悪いという状況。商店で売られている野菜の殆どが島外からだ。店頭で野菜が並ぶのは、船が入った時だけという状態。

しかし、地元でも頑張っている農家さんはいらっしゃいます! その農家さんやJA野菜生産部会さんに協力を頂き、食育の推進が動き出しました。



けんそう君  
沖縄県民の健康を増進するため  
一緒に頑張るキャラクターです

「Let's 健康おきなわ21」は、八重山地区健康おきなわ21推進会議の構成機関・団体が『沖縄県の長寿復活に関する記事』を投稿しています。

「6月に農家のオジーから、保育園児に野菜のプレゼントしませんか?」という声掛けに快諾頂くものも、野菜も生き物です。「なんか、4月に野菜が採れそつだ!」ということとは…収穫がはやる?! 行政、教育現場、農家、JA(企業)のやり取りの嵐です。早速、収穫体験が決定しました。そんな体験や、野菜の詰め合わせを家に持ち帰り、家族で料理をし、一緒に食べる。当たり前の事ですが、自分が持ち帰った野菜、自分で収穫した野菜は、どれほど嬉しく、その子供たちを見る親御さん方はどう感じるのだろうか?

その結果がお弁当に現れていたのです。彩が良くなったお弁当、好き嫌いが減った子供達が。

地道ですが、島の食の未来に笑顔が見えた瞬間のように思えました。

八重山日报社

平成30年3月9日(金)